

附属機関等の会議録

会議の名称		令和3年度田川市国民健康保険運営協議会（第3回）
開催日時		令和3年12月20日（月） 18時10分から19時10分まで
開催場所		田川市役所 1階 大会議室
出席者	委員	田丸会長、畑副会長、稲富委員、宮本委員、廣川委員、佐々木委員、今林委員、野中委員、中田委員
	事務局	峯課長、大久保係長、永松主事
	その他	
議事内容		<p>【会議次第】</p> <p>1 開会あいさつ</p> <p>2 会議録署名委員の指名</p> <p>3 議題</p> <p>(1) 納付金算定の仕組み</p> <p>(2) 納付金の仮算定結果</p> <p>(3) 税率の検討について</p> <p>4 その他</p> <p>次第1 開会あいさつ</p> <p>会長及び事務局から開会のあいさつが行われた。</p> <p>次第2 議事録の署名人</p> <p>会長から署名人の指名があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被保険者代表 宮本委員 ・公益代表 畑委員 <p>次第3 議事(1)納付金算定の仕組み～議事(2)納付金の仮算定結果</p> <p>●事務局</p> <p>(納付金算定の仕組み・納付金の仮算定結果について 資料に沿って説明)</p>

○委員

別紙 1 ページの 4 .標準的な収納率はどのように算定したのか。

●事務局

標準的収納率は、前年度の実績から算定しているもので、これは令和 2 年度の決算の時の数値である。

議事(3) 税率の検討について

●事務局

(税率の検討について 資料に沿って説明)

○委員

税率引き下げ後の反動の幅というものはその時点になってみないと分からないのか。また、その反動により税額が増えることになるのはいかなるものか。

●事務局

決算が赤字になるように税収を設定すると、その分が足りないので基金を還元していくことになり、基本的にはそのペースで基金が減っていく。止めようと思えば、元に戻すために税率を上げることになる。基金を還元するという方法をとるのであれば、赤字になるように税率を下げるということになるので、いったん下げればどこかの時点で戻すということになる。

○委員

基金の還元ペースはどれくらいが妥当なのか。納付額がこれくらい下がった場合、反動としてこれくらい上がるという資料を次回示してもらいたい。

●事務局

次回示す予定である。基金の還元に関しては保有金額がかなり大きくなっているもので、できるだけ短い時間で還元して欲しいという意見もある。仮に 4,000 万円ずつ還元するとしても、いったん下げた金額を戻すときに、一括で 4,000 万円分の税率を戻すということはおそらくしないと思われる。つまり、基金に余力があるということは、戻すときに緩やかに戻していける財源があるということである。この案は我々が還元ペースをみるうえで、基金に余力がある間、複数年にかけて 1,000 万円ずつ戻していく等、

一括で 4,000 万円分の税率を戻さないような設定ができるのではないかと考えた案ということで理解していただきたい。

○委員

県の標準税率統一化を見据えたところがあるが、統一化後の税率と今回引き下げた時の差はどのようになるのか。県の標準税率統一化後の方が、トータルで言ったら今より低くなると思うので、それがどうなっていくか。具体的に言えば、基金を取り崩す金額と統一化後の下げ幅が同じくらいになるのか。増えるか減るか。

●事務局

現段階では、負担割合の変更協議中ということで、明確に答えることは出来ない。しかし、今までの会議で示されている状況では、田川市の納付金は現状維持か、もしくは下がるといった予想が示されている状態である。協議の結果はこれからどうなっていくかは分からないが、大幅に上がる等の内容は提示されていないという状況である。

○委員

資料 2 ページの「市町村の国保特別会計」で、左側の支出に③に納付金とあるが、この納付金というのは、税で賄っていると思うが、後期高齢者への負担金分は入ってくるのか。

●事務局

納付金は、医療分と後期高齢者の負担金と介護の負担金を含めたものである。

○委員

2025 年問題というものがある。納付金が大きくなっていくと、収支のバランスというものをどこまで考慮されているかを教えていただきたい。

●事務局

後期高齢者支援金・介護納付金を含めて、1 人当たりの負担額というものは県としても増えていくという状況を想定はしているようである。県から市町村に対してそういった推移の数字的なものは示してもらえてない状況である。そういった数字があれば、収支の均衡状態が保たれていくのか、広がっていくのか試算できるが、今のところ我々でも計算出来ない。

	<p>ただし、田川市の医療費の県内順位が下がってきており、田川市の納付金の伸びは抑制されてきているので、大きな負担増は生じないのではないかと考えている。</p> <p>次第4 その他</p> <p>○委員 （退職による委員退任。退任の挨拶）</p> <p>●事務局 （運営協議会スケジュールについて 資料に沿って説明）</p> <p>○委員（会長） 他に質問等、何もないようなので、これをもって、令和3年度第3回田川市国民健康保険運営協議会を終了する。</p>
問合せ先	市民課保険係
その他の事項	